



橋野 君佳さん
(天草郡天草町)

私は今まで、熊本の人間というより天草の人間だったんです。だから天草から周囲を見まわしていたわけですが、今度は視点をえて県を中心から熊本を眺めてみたいと思って応募しました。

例えば環境問題に関して、個人的には水を守るための石鹸作りをしていますが、県政はどのような形で私たちに手を貸してくれるのか大変興味があります。



小園 智子さん
(球磨郡錦町)

皆さんは「仮装大賞」という番組をご存知でしょうか。私事で恐縮ですが、うちの家族が、今度で出場10回目なんですよ。

あの舞台裏でスタッフの皆さんが力を合わせる姿がとても素晴らしくて、痛み付きになっちゃったんですけど。県政の舞台裏というか、これまで遠い存在だった県政を内側からじっくりと見て、県政をもっと身近なものにするお手伝いができたらと思います。



荒木 真由美さん
(熊本市新大江)

子供の幼稚園で母親同士話していると、しっかりした子育て設計や信念を持った方が多いんですね。同年代であっても地域などによって母親の意識は随分違うものだなあと驚いています。私の育児は未だ手さぐりの状態なんですけど、子供たちには生まれ育った熊本を大好きになって欲しいですね。そういう母親の目で、また一県民の目で、あまり知られていない所にもスポットを当てて、伸びる熊本を伝えることができたら素晴らしいなと思います。



本田 幸恵さん
(熊本市上の郷町)

先日、子ども会で「野鳥の森」や「樹木園」などを利用したんですが、多くの子供が自然に関する知識を持っていないことに驚きました。子供が知識を持っていないということは、親が自分の生活に直接関わりのない事に対して興味を持っていないということだと思います。「子供たちの心を豊かに育てるために、まず親が自分自身の心を広げましょう。」そんな気持ちで広報活動に参加していきたいです。



宮嶋 久美子さん
(菊池郡合志町)

結婚と同時に熊本に来ました。もう13年になりますが、今まで子育てにかりっきりであちこち出かける余裕がなく、ほんの身近なことしか知らないという状態です。今回、本当の熊本を知るチャンスだと思って応募しました。まず自分自身が勉強し視野を広げて、私みたいな主婦の皆さんにもいろんな熊本を伝えていけたらいいなと思っています。



巻幡 好美さん
(玉名郡長洲町)

県政がうまくいっているかどうかは「熊本に住んでよかった」と皆が思うかどうかだと思うんです。その条件として必要なことは、まず一人一人が健康で、経済的にもある程度保証されていて、それぞれ心の中に生き甲斐を持っている…。そういうことではないでしょうか。いろんな人や施設を訪ねて、楽しみながら経験し、得たことをそのまま周りの人たちに伝えていきたいと思っています。

初めて顔を合わせたママさん達は、少し緊張気味の様子。でも、探訪記者としての第一歩を踏み出した彼女達の表情は、とてもイキイキしていて、意欲満々のようです。

次回からは、ママさん自身が各地へ赴き、レポートします。どうぞ楽しみに。



主婦の目で見えた熊本、伝えます。 1年間どうぞよろしく。

平成2年度のママさん特派員が決定しました。ママさん達の主な活動内容は、本誌の取材、県政番組の出演、県政バスへの参加、その他イベントの取材などです。

いま熊本では何が起きているか。それは県民一人一人とどのようにつながっているのか。住み良い快適な街づくりのためにどんな取り組みがなされているか…。そんな話題を、母親の目、主婦の目、女性の目、そして県民の目で捉えたレポートが「風を探して——ママさん探訪記」です。

なりたてホヤホヤのママさん特派員6名に、抱負を語ってもらいました。